

2019年6月27日

## Tranzax株式会社との業務提携および 電子記録債権担保取得サービス「POファイナンス<sup>®</sup>」の取扱開始について

株式会社広島銀行（頭取 部谷 俊雄）では、電子債権記録機関を運営するTranzax株式会社（代表取締役社長 大塚 博之）と提携し、同社が提供する「POファイナンス<sup>®</sup>」の取扱いを開始しますので、下記のとおりお知らせいたします。

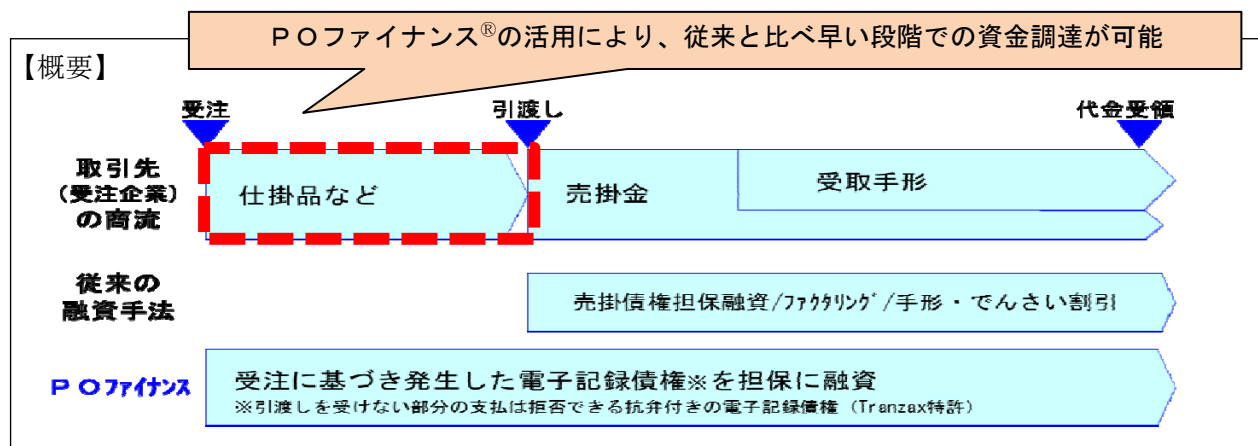
記

### 1. 目的

受注したという事実とその内容を電子記録債権化し、納品前の時点での受注債権担保融資が可能になる「POファイナンス<sup>®</sup>」の活用により、お取引先の資金調達手段の拡充を図ります。特に、資金調達に課題を抱えるベンチャー、スタートアップ企業の資金ニーズにお応えし、その成長と発展を支援するものです。

### 2. 「POファイナンス<sup>®</sup>」の活用について

- 「POファイナンス<sup>®</sup>」とは、Tranzax株式会社が提供するPOファイナンスシステムを利用し、受発注情報を元に電子記録債権を発生させ、仕掛かり前に必要な運転資金を調達できるサービスです。本サービスを利用する取引では、受注時点で電子記録債権が発生するため、この電子記録債権を受注企業が当行へ担保として差入れることで、受注時点からの資金調達が可能になります。
- 完成した商品・業務・工事等の引渡し後に発生する売掛金等を活用する従来の融資手法と比べ、早い段階での資金調達が可能です。



### 3. 取扱開始日

2019年6月27日(木)

#### 【T r a n z a x株式会社の概要】.

代 表 者	代表取締役社長 大塚 博之
本 社 所 在 地	東京都港区虎ノ門一丁目 12-9 スズエ・アンド・スズエビル 6 階
設 立	2009年7月
資 本 金	1, 929 百万円
事 業 内 容	電子記録債権を活用した金融サービスの提供
備 考	独立系 I T 企業で、電子記録債権を活用し、新しい金融サービスの提供する会社です。 子会社の T r a n z a x 電子債権株式会社は、国内 5 番目の電子債権記録機関として 2016 年 7 月に国から指定を受けています。

以 上

本件に関するお問い合わせ先  
株式会社広島銀行 法人企画部  
TEL (082) 247-5151 (代表)



広島銀行では、SDGs への取組みを強化しており、関連する  
ニュースリリースに「SDGs 17 の目標アイコン」を明示しています。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】  
2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030  
年までの世界共通目標。  
持続可能な開発のための17の目標と169のターゲットで構成。